

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	保健医療福祉総論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	後期 月曜日1.2限	教室名	801,802
担 当 教 員	重松康之	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
わが国の保健・医療・福祉の制度を理解し、予防医学と検査の関連ならびに疫学的分析法の理論と技術を学び、医療チームの一員としての臨床検査技師を考える。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書、資料配布						
《授業外における学習方法》						
配布資料を予習・復習する事。また、医療関連ニュースを閲覧する。						
《履修に当たっての留意点》						
臨床検査と各部門との関わり、医療制度の中の臨床検査(チーム医療も含む)を理解する。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	医学の歴史について説明出来るようになる。		教科書と配布資料	教科者や配布資料の該当する部分について予習する。
		各コマにおける授業予定	医学の起源、古代・中世・近世の医学について			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	病院の各部門の役割について説明出来るようになる。		教科書と配布資料	教科者や配布資料の該当する部分について予習する。
		各コマにおける授業予定	各部門(医療・薬剤・看護・臨床検査・放射線・リハビリ等)の業務について			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	病院の各部門の役割について説明出来るようになる。		教科書と配布資料	教科者や配布資料の該当する部分について予習する。
		各コマにおける授業予定	各部門(医療・薬剤・看護・臨床検査・放射線・リハビリ等)の業務について			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	我が国の医療制度について説明出来るようになる。		教科書と配布資料	教科者や配布資料の該当する部分について予習する。
		各コマにおける授業予定	我が国の医療制度について			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	我が国の医療制度について説明出来るようになる。		教科書と配布資料	教科者や配布資料の該当する部分について予習する。
		各コマにおける授業予定	我が国の医療制度について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療提供体制について説明出来るようになる。	教科書と配布資料	教科者や配布資料の該当する部分について予習する。
		各コマにおける授業予定	医療施設の種類・医療従事者の身分について		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療提供体制について説明出来るようになる。	教科書と配布資料	教科者や配布資料の該当する部分について予習する。
		各コマにおける授業予定	医療施設の種類・医療従事者の身分について		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療保険制度について説明出来るようになる。	教科書と配布資料	教科者や配布資料の該当する部分について予習する。
		各コマにおける授業予定	保険の種類、診療報酬支払い制度について		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療保険制度について説明出来るようになる。	教科書と配布資料	教科者や配布資料の該当する部分について予習する。
		各コマにおける授業予定	保険の種類、診療報酬支払い制度について		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	チーム医療、関係法規について説明出来るようになる。	教科書と配布資料	教科者や配布資料の該当する部分について予習する。
		各コマにおける授業予定	チーム医療、関係法規について		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	クラブ活動を通して、より深い専門科目の知識と技術を習得することができる。	教科書と配布資料	該当する内容について予習する。
		各コマにおける授業予定	各クラブ活動(血液、生理機能、臨床化学、微生物など)に分かれて、知識および技術の習得		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	クラブ活動を通して、より深い専門科目の知識と技術を習得することができる。	教科書と配布資料	該当する内容について予習する。
		各コマにおける授業予定	各クラブ活動(血液、生理機能、臨床化学、微生物など)に分かれて、知識および技術の習得		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	クラブ活動を通して、より深い専門科目の知識と技術を習得することができる。	教科書と配布資料	該当する内容について予習する。
		各コマにおける授業予定	各クラブ活動(血液、生理機能、臨床化学、微生物など)に分かれて、知識および技術の習得		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	クラブ活動を通して、より深い専門科目の知識と技術を習得することができる。	教科書と配布資料	該当する内容について予習する。
		各コマにおける授業予定	各クラブ活動(血液、生理機能、臨床化学、微生物など)に分かれて、知識および技術の習得		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	クラブ活動を通して、より深い専門科目の知識と技術を習得することができる。	配布資料	該当する内容について予習する。
		各コマにおける授業予定	各クラブ活動(血液、生理機能、臨床化学、微生物など)に分かれて、知識および技術の習得		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	保健医療福祉総論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期 月曜日1,2限	教室名	801802
担 当 教 員	重松康之	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
わが国の保健・医療・福祉の制度を理解し、予防医学と検査の関連ならびに疫学的分析法の理論と技術を学び、医療チームの一員としての臨床検査技師を考える。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書、資料配布						
《授業外における学習方法》						
配布資料を予習・復習する事。また、医療関連ニュースを閲覧する。						
《履修に当たっての留意点》						
臨床検査と各部門との関わり、医療制度の中の臨床検査(チーム医療も含む)を理解する。						
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	クラブ活動を通して、より深い専門科目の知識と技術を習得することができる。	配布資料	該当する内容について予習する。	
		各コマにおける授業予定	各クラブ活動(血液、生理機能、臨床化学、微生物など)に分かれて、知識および技術の習得			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	クラブ活動を通して、より深い専門科目の知識と技術を習得することができる。	配布資料	該当する内容について予習する。	
		各コマにおける授業予定	各クラブ活動(血液、生理機能、臨床化学、微生物など)に分かれて、知識および技術の習得			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	クラブ活動を通して、より深い専門科目の知識と技術を習得することができる。	配布資料	該当する内容について予習する。	
		各コマにおける授業予定	各クラブ活動(血液、生理機能、臨床化学、微生物など)に分かれて、知識および技術の習得			
第19回	演習形式	授業を通じての到達目標	クラブ活動を通して、より深い専門科目の知識と技術を習得することができる。	配布資料	該当する内容について予習する。	
		各コマにおける授業予定	各クラブ活動(血液、生理機能、臨床化学、微生物など)に分かれて、知識および技術の習得			
第20回	演習形式	授業を通じての到達目標	クラブ活動を通して、より深い専門科目の知識と技術を習得することができる。	配布資料	該当する内容について予習する。	
		各コマにおける授業予定	各クラブ活動(血液、生理機能、臨床化学、微生物など)に分かれて、知識および技術の習得			